



町長エッセイ



「武蔵の小京都おがわを描く展」が第20回を迎えました。展覧会には町内の小学生・中学生の作品を含め、町内外から寄せられた作品は163点にのぼりました。

小川を代表する山と川を織り込んだ美しい四季の情景、神社仏閣、旧下里分校もありました。町内外の人たちが小川町のどこに魅力を感じて題材としたのかを考えながら見て回り、絵画を通して小川町の「小京都」を見ることが出来ました。

「小京都おがわ大賞」は躍動的なササラ獅子舞を描いた小川町の方が受賞され、題名は「下里祭礼」とありました。大賞を決める審査員は、日本大学芸術学部教授の建畠朔弥

氏でした。

公民館まつりも歴史を重ねて45回です。公民館を利用しているサークルの皆さんの発表の場となったりリックおがわは2月25日に公民館まつりで賑わいました。展示作品はどれも力作揃いでした。

各サークルとも会員の皆さんの日々の努力が反映されていて訪れた人々に感動を与えていました。お茶席では和菓子と特別なお茶がとてもマッチしていました。舞台発表で次々と繰り出される歌、踊り、演奏、そしてフラダンスはとても素晴らしく、来場された皆さんを魅了するものでした。

松本恒夫